チェックシート

金　属　製　外　壁　張

中　間　検　査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | チ　ェ　ッ　クポ　イ　ン　ト | 良 | 否 | 改善方法 |
| 下地の状態 | 縦胴縁・横胴縁は、木の場合18×45以上とし、鉄骨下地の場合は2.3㎜以上のC形鋼か、3㎜以上で30㎜×30㎜以上のL形鋼が使用されているか。 |  |  |  |
| 木下地の場合、胴縁間隔は455㎜以内となっているか。 |  |  |  |
| 軽量鉄骨下地の場合、胴縁間隔は606㎜以内となっているか。 |  |  |  |
| 出隅部分には、縦胴縁の小口処理がされているか。 |  |  |  |
| 開口部廻り、ひさし廻りには4周に胴縁が取り付けられているか |  |  |  |
| 下張り | 断熱材等の下張り材は、木毛セメント板15㎜以上、プラスターボード9㎜以上等の十分な断熱材が張られているか。 |  |  |  |
| 断熱材等の下張り材は、縦横通り良く張られているか。 |  |  |  |
| 断熱材等の下張り材の出隅・入隅部分、また、開口部分の切り込みは、乱れがないか。 |  |  |  |
| 下張り材が破損した部分には適切な処置がされているか。 |  |  |  |
| 墨出し | 縦横の割付け、墨出しが正確に行われているか。 |  |  |  |
| 水切の施工 | 継ぎ目重ねは、30㎜以上と成っているか。 |  |  |  |
| 止め釘及びビス止め間隔は、455㎜以内で固定してあるか。 |  |  |  |
| 継ぎ目重ね部は、シールが施されているか。 |  |  |  |

㈱全日本建築板金保証センター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支部長印 | 保証委員長印 | 担当事務局印 |
|  |  |  |

鳥取県支部長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 工事現場名 |  |
| 受　付　番　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 検　　査　　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 再　検　査　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 提出日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工事完成予定日 | 平成　　年　　月　　日 |

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

検査員資格番号　第　　　　　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 検査員氏名

チェックシート

金　属　製　外　壁　張

完　成　検　査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | チ　ェ　ッ　ク　ポ　イ　ン　ト | 良 | 否 | 改善方法 |
| 壁材の施工 | 墨出しと割付けをした通り、張り出され且つ、通りよく壁面の角々には、切り込み過ぎ等の不良部分はないか。 |  |  |  |
| 窓等の開口部分には、切り込み過ぎ等の不良部分はないか。 |  |  |  |
| 釘又はビスの頭が浮いている部分や打ち忘れの個所はないか。 |  |  |  |
| 縦横の重ね部分は、なじみよく十分な重ねとなっているか。 |  |  |  |
| 出隅・入隅施工 | 壁材を折り曲げるか、コーナーを別に加工して胴縁に釘又は、ビス止めの出来る加工がしてあり、取り付けているか。 |  |  |  |
| 壁材の表面に傷はないか。又、タッチアップや取替え等の補修がしてあるか。 |  |  |  |
| 屋根の上や関係する場所の清掃は行われているか。 |  |  |  |

㈱全日本建築板金保証センター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支部長印 | 保証委員長印 | 担当事務局印 |
|  |  |  |

鳥取県支部長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 工事現場名 |  |
| 受　付　番　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 検　　査　　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 再　検　査　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 提出日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工事完成予定日 | 平成　　年　　月　　日 |

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

検査員資格番号　第　　　　　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 検査員氏名